

2021年に外科治療を施行された 肺癌患者のデータベース研究

当院は第11次全国肺癌登録事業に参加しています

本研究は、2021年に肺がんの手術を受けた患者さんの情報を集めて分析し、今後の診断方法の確立、治療方法の発展に寄与することを目的とします。また、国際的なデータベースに協力し、肺がん診療の世界基準の構築に貢献します。

本研究の対象となる方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望しない方はお申し出ください（ご本人より本研究に関する委任を受けた代理の方も可能です）

対象となる方

2021年1月1日より2021年12月31日までの間に、
原発性肺悪性腫瘍（肺がん）の外科治療を受ける方



ご協力いただく内容

通常の診療において診療記録に記載されている情報のみを用いて行う「観察研究」ですので、患者さんに特別な検査や処置をお願いすることはありません。

情報は患者さんを特定できる部分を全て削除し、コード番号などで匿名化した上で集計、解析を行います。患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。

この研究は、臨床研究倫理審査委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

研究概要

本研究についての説明文書をお読みになりたい方は、担当医へおたずねください。



肺癌登録合同委員会
ホームページでも
ご覧いただけます。

<https://haigan-touroku.jp/index.html>

お問い合わせ先

社会医療法人大雄会 総合大雄会病院・呼吸器外科
吉原正（事務担当：MC課 永田ここの）

電話0586-72-1211/FAX0586-24-8853

または

千葉大学医学部附属病院・呼吸器外科

吉野 一郎 鈴木 秀海

電話 043-222-7171/FAX 043-226-2547

研究課題名	2021年に外科治療を施行された肺癌患者のデータベース研究
当院における研究責任者	呼吸器外科長 吉野 一郎
共同研究機関	研究代表者・研究責任者 伊達 洋至 肺癌登録合同委員会 委員長(京都大学) 研究事務局 吉野 一郎 肺癌登録合同委員会 事務局長(千葉大学)
研究の方法	①同意取得はオプトアウト方式で行う。② NCD の中央登録方式を用いた多施設共同観察研究である。2021年に施行された外科症例について、一次情報ならびに2026年12月31日時点での二次情報を登録する。③2027年4月以降にデータを固定し匿名化処理を行い、予後、予後因子等について解析する。④肺癌病期分類改定作業に資するための海外の国際データベース等に拠出する。
研究実施期間	2021年1月1日～2029年12月31日